

SAPのクラウド移行プロジェクトを成功させるための5ステップ

SAPのクラウド移行に際しては、注意すべき多くのポイントがあります。ここでは、SAPデータをクラウドへ移行する際に考慮すべき5つの重要なステップをご紹介します。

1

堅牢な移行アプローチの確立

S/4HANAへの移行は、単にSAPアプリケーションを最新版にアップグレードするだけではありません。データを中心に据えた堅牢なアプローチが必要です。これらのアプリケーションに含まれるデータと、移行後に追加の作業が必要になるかもしれないその他のクラウドアプリケーションとの統合やカスタマイズを評価することも視野に入れる必要があります。

データとAIを中心に据えたモダナイゼーション フレームワークの確立

S/4HANAへの移行時は、データの整合性を確保することが重要です。データの準備、統合、移行、ガバナンスというシンプルな4つのステップに従うことで、これを達成することができます。AIを活用すればこれらの作業の多くを自動化できるので、最小限のリスクで優れた費用対効果の円滑な移行が実現します。

2

3

包括的でAIドリブンのデータマネジメントの導入

高コストなプロジェクトを回避し、S/4HANAへ移行した後も確実にデータが用途に適しているようにするためには、適正なデータマネジメントツールが必要です。SAPシステム全体で、自動データディスカバリ、データ品質のガバナンス、データのエンリッチ化、データのマスタリングを提供できるソリューションを見つける必要があります。

ERPシステムの統合

複数のSAP ECCやレガシーのエンタープライズリソースプランニング（ERP）システムから重要なデータを連結するときは、自動データ統合サービスを使用して、データを共通の規格に接続・変換します。その後、移行中もレガシーシステムを維持した状態で、それらのデータをS/4HANAに移行します。データを最新のSAPシステムに移行したら、データ統合サービスを使用して、その他のデータソースに接続することもできます。

4

5

S/4HANAでのデータの民主化

IT部門にさまざまな利用者からのリクエストが殺到している状態では、すべてのデータ利用者のニーズに応えることはできません。より良いサービスを利用者へ提供するためには、共通のデータマーケットプレイスを構築し、データリクエストのプロセス、承認ワークフローの管理、データの提供を自動化することを考える必要があります。

詳細はこちら

実際にモダナイゼーションの作業を開始する前に、SAPモダナイゼーションの詳細ページをご覧ください。

[詳細ページはこちら](#)

Where data & AI come to



インフォマティカ (NYSE:INFA) は、データとAIが持つ変革の力を形にするための支援を通して、企業の最重要資産であるデータとAIに命を吹き込んでいます。データの価値を適切に引き出して信頼できるリソースとして活用することで、組織全体でデータを民主化し、混沌とした環境から明瞭な環境へと変革できます。多くの企業が、Informatica Intelligent Data Management Cloud™ (IDMC) を使用してデータに命を吹き込むことで、壮大なアイデアを促進してプロセスを改善し、コストを削減しています。AIエンジンのCLAIRE®を搭載したIDMCは、タイプ、パターン、複雑さ、ワークロード、場所を問わず、あらゆるデータをひとつのプラットフォームで管理できる唯一のクラウドです。

IN20-4657-1023

© Copyright Informatica LLC 2023. Informatica, Informaticaロゴは、米国およびその他の国におけるInformatica LLCの商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html>をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。